

結果の概要

1 生活時間

(1) 1日の生活時間の配分

ア 行動の種類（3区分）別生活時間

○ 1次活動時間及び3次活動時間は増加、2次活動時間は減少

本県に住んでいる10歳以上の人について、1日の生活時間の平均（週全体）をみると、1次活動時間が10時間33分、2次活動時間が6時間56分、3次活動時間が6時間30分となっています。

平成18年と比べると1次活動時間は9分増加、2次活動時間は14分減少、3次活動時間は4分増加しています。[表1、第2-1表 参照]

○ 男性は1次活動時間及び3次活動時間が増加、2次活動時間が減少し、女性は1次活動時間が増加、2次活動時間及び3次活動時間が減少

男女別にみると、男性は1次活動時間が10時間24分、2次活動時間が7時間、3次活動時間が6時間36分、女性は1次活動時間が10時間43分、2次活動時間が6時間53分、3次活動時間が6時間24分となっており、1次活動時間は女性が長く、2次活動時間及び3次活動時間は男性が長くなっています。

平成18年と比べると、男性は1次活動時間が7分増加、2次活動時間が16分減少、3次活動時間が9分増加し、女性は1次活動時間が11分増加、2次活動時間が10分減少、3次活動時間が1分減少しています。[表1、第2-1表 参照]

○ 2次活動時間は曜日を問わず減少

曜日別にみると、平日は1次活動時間が10時間20分、2次活動時間が7時間53分、3次活動時間が5時間47分、土曜日は1次活動時間が10時間57分、2次活動時間が5時間12分、3次活動時間が7時間52分、日曜日は1次活動時間が11時間17分、2次活動時間が3時間59分、3次活動時間が8時間44分となっており、1次活動時間及び3次活動時間は日曜日が最も長く、2次活動時間は平日が最も長くなっています。

平成18年と比べると、平日は1次活動時間及び3次活動時間が増加し、土曜日は1次活動時間が増加、3次活動時間が減少し、日曜日は1次活動時間が減少、3次活動時間が増加し、2次活動時間は曜日を問わず減少しています。

[表2、第2-2表、第2-3表、第2-4表 参照]

表1 男女、行動の種類別生活時間（平成18年、23年） 一週全体

(時間. 分)

	総数			男			女		
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減
1次活動	10.24	10.33	0.09	10.17	10.24	0.07	10.32	10.43	0.11
睡眠	7.37	7.42	0.05	7.43	7.46	0.03	7.30	7.38	0.08
身の回りの用事	1.11	1.16	0.05	1.01	1.05	0.04	1.22	1.27	0.05
食事	1.36	1.36	0.00	1.32	1.33	0.01	1.40	1.38	△ 0.02
2次活動	7.10	6.56	△ 0.14	7.16	7.00	△ 0.16	7.03	6.53	△ 0.10
通勤・通学	0.31	0.31	0.00	0.41	0.41	0.00	0.21	0.20	△ 0.01
仕事	3.54	3.36	△ 0.18	5.23	4.57	△ 0.26	2.25	2.16	△ 0.09
学業	0.37	0.39	0.02	0.37	0.41	0.04	0.38	0.37	△ 0.01
家事	1.24	1.24	0.00	0.14	0.16	0.02	2.35	2.32	△ 0.03
介護・看護	0.03	0.03	0.00	0.02	0.02	0.00	0.03	0.03	0.00
育児	0.15	0.17	0.02	0.04	0.05	0.01	0.25	0.30	0.05
買い物	0.25	0.27	0.02	0.15	0.18	0.03	0.36	0.35	△ 0.01
3次活動	6.26	6.30	0.04	6.27	6.36	0.09	6.25	6.24	△ 0.01
移動（通勤・通学を除く）	0.31	0.31	0.00	0.28	0.30	0.02	0.35	0.32	△ 0.03
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.31	2.32	0.01	2.32	2.32	0.00	2.30	2.31	0.01
休養・くつろぎ	1.21	1.29	0.08	1.19	1.29	0.10	1.23	1.29	0.06
学習・自己啓発・訓練(学業以外) 注)	0.13	0.12	△ 0.01	0.15	0.11	△ 0.04	0.12	0.13	0.01
趣味・娯楽	0.46	0.47	0.01	0.52	0.55	0.03	0.40	0.38	△ 0.02
スポーツ	0.13	0.14	0.01	0.16	0.16	0.00	0.10	0.11	0.01
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.04	△ 0.01	0.04	0.03	△ 0.01	0.05	0.04	△ 0.01
交際・付き合い	0.22	0.19	△ 0.03	0.20	0.18	△ 0.02	0.25	0.19	△ 0.06
受診・療養	0.08	0.07	△ 0.01	0.07	0.06	△ 0.01	0.09	0.09	0.00
その他	0.15	0.16	0.01	0.12	0.15	0.03	0.18	0.17	△ 0.01
(再掲)									
家事関連 1)	2.07	2.11	0.04	0.35	0.41	0.06	3.39	3.40	0.01
休養等自由時間活動 2)	3.52	4.01	0.09	3.51	4.01	0.10	3.53	4.00	0.07
積極的自由時間活動 3)	1.17	1.17	0.00	1.27	1.25	△ 0.02	1.07	1.06	△ 0.01

1) 家事、介護・看護、育児及び買い物

2) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ

3) 学習・自己啓発・訓練(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

注)平成18年は「学習・研究(学業以外)」。

表2 男女、行動の種類、曜日別生活時間（平成18年、23年）

(時間. 分)

		平成18年			平成23年			増減		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10.09	10.48	11.20	10.20	10.57	11.17	0.11	0.09	△ 0.03
	2次活動	8.09	5.16	4.04	7.53	5.12	3.59	△ 0.16	△ 0.04	△ 0.05
	3次活動	5.42	7.56	8.36	5.47	7.52	8.44	0.05	△ 0.04	0.08
男	1次活動	9.59	10.42	11.20	10.09	10.51	11.14	0.10	0.09	△ 0.06
	2次活動	8.33	4.54	3.14	8.13	4.47	3.06	△ 0.20	△ 0.07	△ 0.08
	3次活動	5.28	8.24	9.26	5.39	8.22	9.40	0.11	△ 0.02	0.14
女	1次活動	10.18	10.54	11.19	10.32	11.03	11.20	0.14	0.09	0.01
	2次活動	7.45	5.39	4.54	7.33	5.36	4.51	△ 0.12	△ 0.03	△ 0.03
	3次活動	5.56	7.27	7.46	5.56	7.21	7.48	0.00	△ 0.06	0.02

イ 年齢階級別にみた生活時間

○2次活動時間は、男女ともに「35～44歳」が最も長い

年齢階級別に生活時間をみると、1次活動時間は、男女ともに「45～54歳」が最も短く、男性が9時間53分、女性が9時間45分となっています。

2次活動時間は、男女ともに「35～44歳」が最も長く、男性が9時間9分、女性が8時間33分となっています。

3次活動時間は、男性は「35～44歳」が4時間57分、女性は「25～34歳」と「35～44歳」の階級が5時間14分と短くなっています。

また、男女ともに、1次活動時間、3次活動時間が最も長く、2次活動時間が最も短いのは「75歳以上」の年齢階級となっています。

[第2-1表 参照]

(2) 1次活動時間

ア 睡眠時間

○睡眠時間は45～54歳が最も短い

10歳以上の人の睡眠時間の平均（週全体）は7時間42分で、全国平均と同時間となっています。これを男女別にみると、男性は7時間46分、女性は7時間38分と男性が8分長くなっています。

年齢階級別にみると、「45～54歳」が7時間7分と最も短く、次いで「35～44歳」が7時間16分となっており、「75歳以上」が8時間41分と最も長くなっています。男女別にみると、「25～43歳」の年齢階級以外は男性が女性より長く、特に「45～54歳」では、男性は7時間20分、女性は6時間54分と男性が26分長くなっています。

平成18年と比べると、5分増加しており、これを年齢階級別にみると、「55～64歳」及び「75歳以上」を除く年齢階級で増加しています。

[図1、2、表3、第2-1表、第4表 参照]

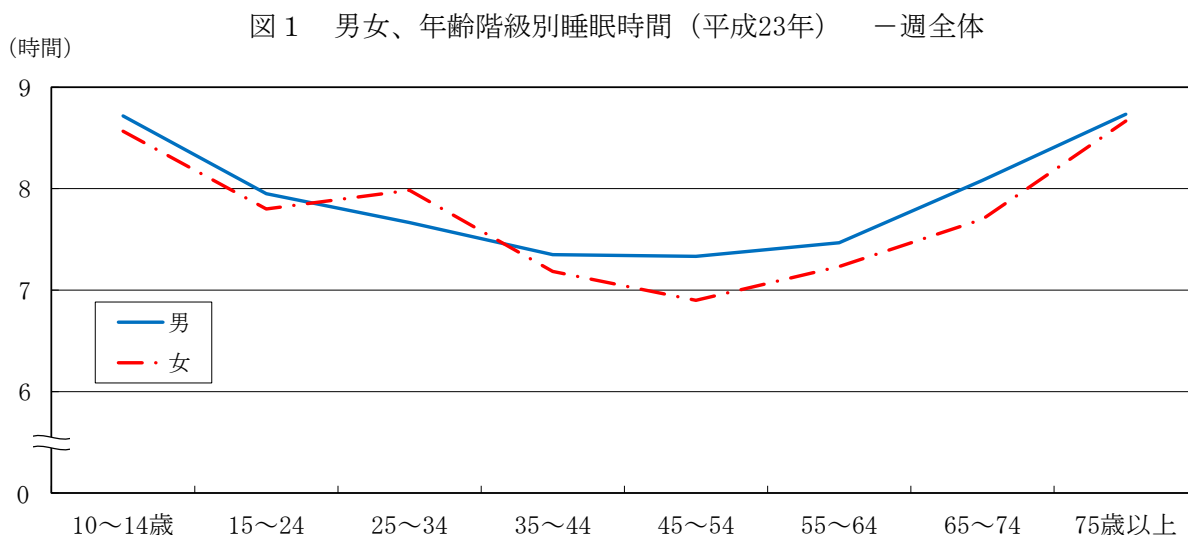


図2 年齢階級別睡眠時間（平成18年、23年）一週全体

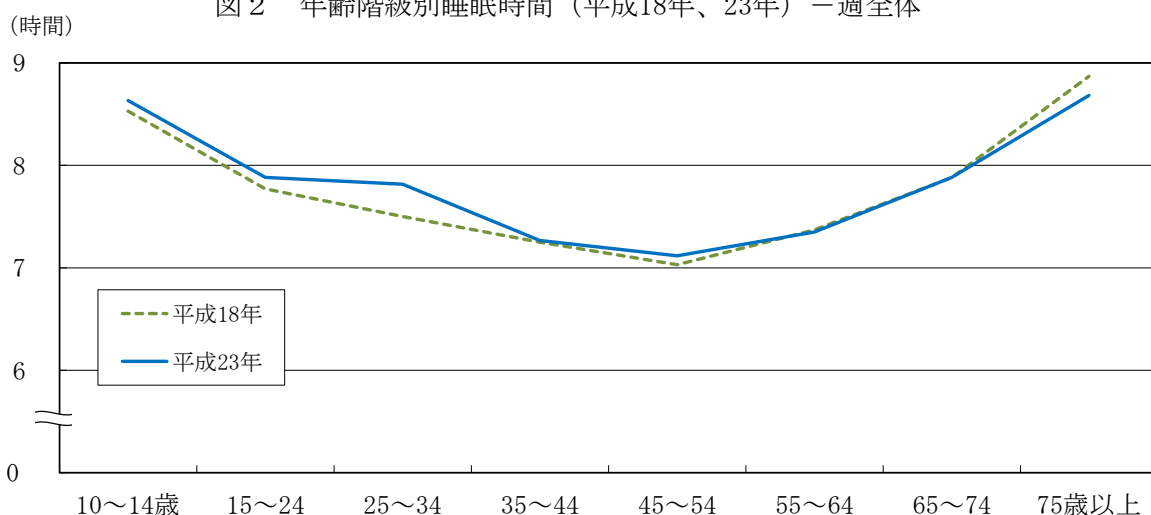


表3 男女、年齢階級別睡眠時間（平成18年、23年）一週全体

(時間、分)

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	7.37	7.42	0.05	7.43	7.46	0.03	7.30	7.38	0.08	0.08
10～14歳	8.32	8.38	0.06	8.31	8.43	0.12	8.33	8.34	0.01	0.09
15～24歳	7.46	7.53	0.07	7.51	7.57	0.06	7.41	7.48	0.07	0.09
25～34歳	7.30	7.49	0.19	7.27	7.40	0.13	7.32	7.59	0.27	△ 0.19
35～44歳	7.15	7.16	0.01	7.26	7.21	△ 0.05	7.02	7.11	0.09	0.10
45～54歳	7.02	7.07	0.05	7.18	7.20	0.02	6.46	6.54	0.08	0.26
55～64歳	7.22	7.21	△ 0.01	7.31	7.28	△ 0.03	7.13	7.14	0.01	0.14
65～74歳	7.53	7.53	0.00	8.08	8.05	△ 0.03	7.40	7.42	0.02	0.23
75歳以上	8.52	8.41	△ 0.11	9.01	8.44	△ 0.17	8.46	8.40	△ 0.06	0.04

注) 男女差は、男性の値から女性の値を引いたもの。

イ 食事時間

○15歳以上では年齢階級が高くなるほど長い食事時間

10歳以上の人の食事時間の平均（週全体）は1時間36分で、全国平均（1時間39分）より3分短くなっています。これを男女別にみると、男性は1時間33分、女性は1時間38分と女性が5分長くなっています。

年齢階級別にみると、「15～24歳」が1時間23分と最も短く、「75歳以上」が1時間57分と最も長くなっており、おおむね年齢階級が高くなるほど長くなる傾向となっています。これを男女別にみると、「25～34歳」では男性が女性より12分短く、最も差が開いている一方で、45歳以上の年齢階級では男女の差に大きな差はありません。

平成18年と比べると、横ばいになっています。これを年齢階級別にみると、45歳から74歳の年齢階級では減少しており、その他の年齢階級では横ばい又は1分の増加となっています。

[表4、第2-1表、第4表 参照]

表4 男女、年齢階級別食事時間（平成18年、23年） 一週全体

(時間、分)

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	1.36	1.36	0.00	1.32	1.33	0.01	1.40	1.38	△ 0.02	△ 0.05
10～14歳	1.32	1.33	0.01	1.28	1.36	0.08	1.37	1.30	△ 0.07	0.06
15～24歳	1.23	1.23	0.00	1.19	1.19	0.00	1.27	1.28	0.01	△ 0.09
25～34歳	1.27	1.27	0.00	1.19	1.21	0.02	1.36	1.33	△ 0.03	△ 0.12
35～44歳	1.30	1.31	0.01	1.28	1.26	△ 0.02	1.31	1.36	0.05	△ 0.10
45～54歳	1.33	1.29	△ 0.04	1.33	1.29	△ 0.04	1.33	1.28	△ 0.05	0.01
55～64歳	1.43	1.41	△ 0.02	1.39	1.41	0.02	1.46	1.42	△ 0.04	△ 0.01
65～74歳	1.56	1.50	△ 0.06	1.53	1.49	△ 0.04	1.59	1.50	△ 0.09	△ 0.01
75歳以上	1.57	1.57	0.00	2.01	1.58	△ 0.03	1.55	1.56	0.01	0.02

注)男女差は、男性の値から女性の値を引いたもの。

(3) 2次活動時間

ア 仕事時間

○男女共に25～34歳で最も長い仕事時間

有業者（15歳以上。以下同じ。）の1日の仕事時間の平均（週全体）は5時間56分で、全国平均（6時間2分）と比べ6分短くなっています。これを男女別にみると、男性は7時間3分、女性は4時間25分となっています。

年齢階級別にみると、「25～34歳」が6時間44分で最も長くなっています。これを男女別にみると、どの年齢階級でも男性が女性より長く、男性では「35～44歳」が7時間51分で、女性では「25～34歳」が5時間20分で最も長くなっています。

平成18年と比べると、20分の減少となっており、男性は16分、女性は19分の減少となっています。これを年齢階級別にみると、おおむねどの年齢階級でも減少している一方で、「65～74歳」のみ増加しています。

[図3、表5、第3表 参照]

図3 男女、年齢階級別仕事時間（平成18年、23年）一週全体、有業者

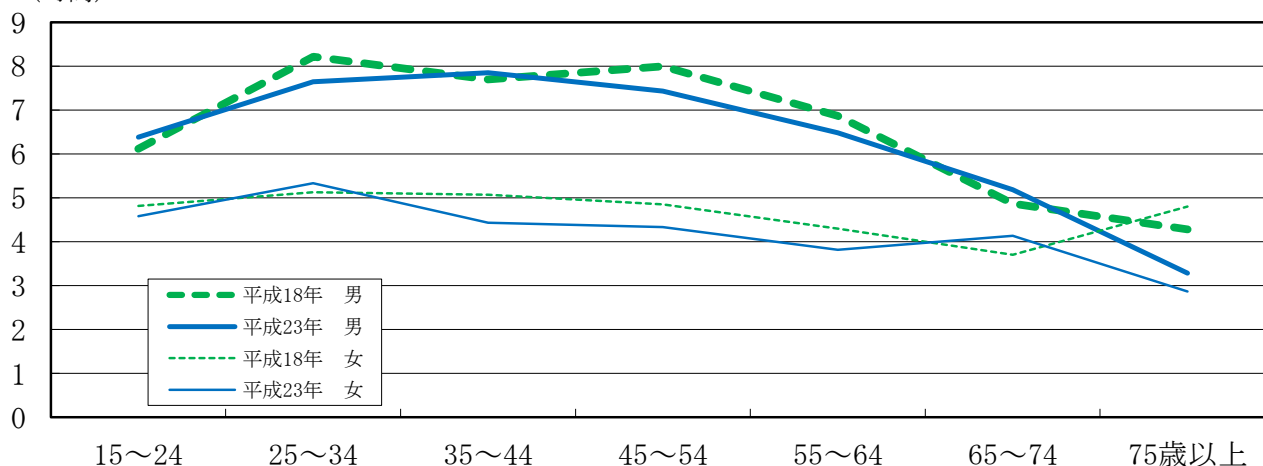


表5 男女、年齢階級別仕事時間（平成18年、23年） 一週全体、有業者

(時間、分)

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	6.16	5.56	△ 0.20	7.19	7.03	△ 0.16	4.44	4.25	△ 0.19	2.38
15～24歳	5.35	5.24	△ 0.11	6.07	6.23	0.16	4.49	4.35	△ 0.14	1.48
25～34歳	7.07	6.44	△ 0.23	8.13	7.39	△ 0.34	5.08	5.20	0.12	2.19
35～44歳	6.36	6.30	△ 0.06	7.42	7.51	0.09	5.04	4.26	△ 0.38	3.25
45～54歳	6.39	6.06	△ 0.33	8.00	7.26	△ 0.34	4.51	4.20	△ 0.31	3.06
55～64歳	5.50	5.21	△ 0.29	6.52	6.29	△ 0.23	4.18	3.49	△ 0.29	2.40
65～74歳	4.24	4.44	0.20	4.52	5.11	0.19	3.42	4.08	0.26	1.03
75歳以上	4.06	3.00	△ 1.06	4.17	3.17	△ 1.00	4.48	2.52	△ 1.56	0.25

注)男女差は、男性の値から女性の値を引いたもの。

イ 家事関連時間

○家事関連時間は男女の差が大きい

10歳以上の人の家事関連時間の平均（週全体）は2時間11分で、男性は41分、女性は3時間40分と男女の間に大きな差があります。

年齢階級別にみると、24歳以下は1時間に満たないのに対し、25歳以上は2時間以上となっています。男性は「75歳以上」が1時間24分、女性は「35歳～44歳」が5時間11分で最も長くなっています。

平成18年と比べると4分増加しており、男女別にみると、男性は6分、女性は1分の増加となっています。これを年齢階級別でみると、「25～34歳」、「55～64歳」、「65～74歳」は減少しており、その他の年齢階級では増加しています。男女別にみると、男性は「65～74歳」を除く年齢階級で増加しています。一方、女性は「25～34歳」が37分と大きく減少しています。

[図4、表6、第2-1表 参照]

図4 男女、年齢階級別家事関連時間（平成18年、23年）一週全体

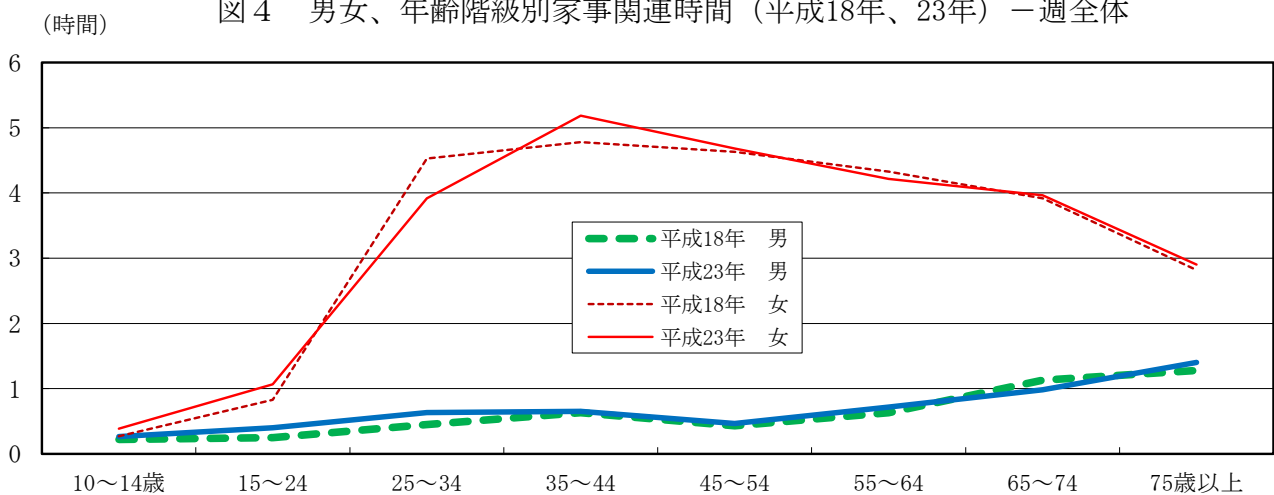


表6 男女、年齢階級別家事関連時間（平成18年、23年） 一週全体

(時間、分)

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	2.07	2.11	0.04	0.35	0.41	0.06	3.39	3.40	0.01	△ 2.59
10～14歳	0.15	0.20	0.05	0.13	0.16	0.03	0.16	0.23	0.07	△ 0.07
15～24歳	0.32	0.44	0.12	0.15	0.24	0.09	0.50	1.04	0.14	△ 0.40
25～34歳	2.24	2.12	△ 0.12	0.27	0.38	0.11	4.32	3.55	△ 0.37	△ 3.17
35～44歳	2.37	2.51	0.14	0.38	0.39	0.01	4.47	5.11	0.24	△ 4.32
45～54歳	2.31	2.31	0.00	0.26	0.28	0.02	4.38	4.41	0.03	△ 4.13
55～64歳	2.30	2.28	△ 0.02	0.38	0.43	0.05	4.20	4.13	△ 0.07	△ 3.30
65～74歳	2.34	2.31	△ 0.03	1.08	0.59	△ 0.09	3.55	3.58	0.03	△ 2.59
75歳以上	2.13	2.18	0.05	1.17	1.24	0.07	2.49	2.54	0.05	△ 1.30

注)男女差は、男性の値から女性の値を引いたもの。

○男性はすべての曜日で増加

曜日別に家事関連時間をみると、平日が2時間5分、土曜日が2時間22分、日曜日が2時間30分となっており、平日に比べ日曜日は25分長くなっています。

男女別に平成18年と比べると、男性はすべての曜日で、特に土曜日は13分増加しているのに対し、女性は平日及び日曜日が増加、土曜日が7分減少しています。

[図5、表7、第2-2表、第2-3表、第2-4表 参照]

図5 男女、曜日別家事関連時間

(時間)

(平成18年、23年)

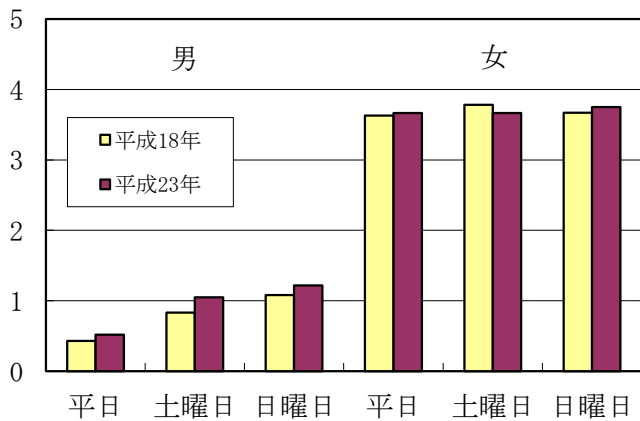


表7 男女、曜日別家事関連時間

(平成18年、23年)

(時間、分)

		平日	土曜日	日曜日
総数	平成18年	2.01	2.18	2.22
	平成23年	2.05	2.22	2.30
	増減	0.04	0.04	0.08
男	平成18年	0.26	0.50	1.05
	平成23年	0.31	1.03	1.13
	増減	0.05	0.13	0.08
女	平成18年	3.38	3.47	3.40
	平成23年	3.40	3.40	3.45
	増減	0.02	△ 0.07	0.05
男女差	平成23年	△ 3.09	△ 2.37	△ 2.32

(4) 3次活動時間

ア 休養等自由時間活動

○65歳～74歳で男性が女性より休養等自由時間活動の時間が1時間以上長い

10歳以上の人の休養等自由時間活動の平均時間（週全体）は4時間1分で、全国平均（3時間58分）と比べ、3分長くなっています。このうち、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間は2時間32分となっています。

男女別で年齢階級別にみると、「65歳～74歳」の年齢階級では男性が女性より1時間14分長く、他の年齢階級と比べ大きな差が見られます。

平成18年と比べると、9分の増加となっており、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間はほぼ横ばいとなっています。年齢階級別にみると「15～24歳」が21分減少しているのに対し、55歳から74歳の年齢階級では20分以上増加しています。

[図6、7、表8、第2-1表、第4表 参照]

図6 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間（平成23年）一週全体
(時間)

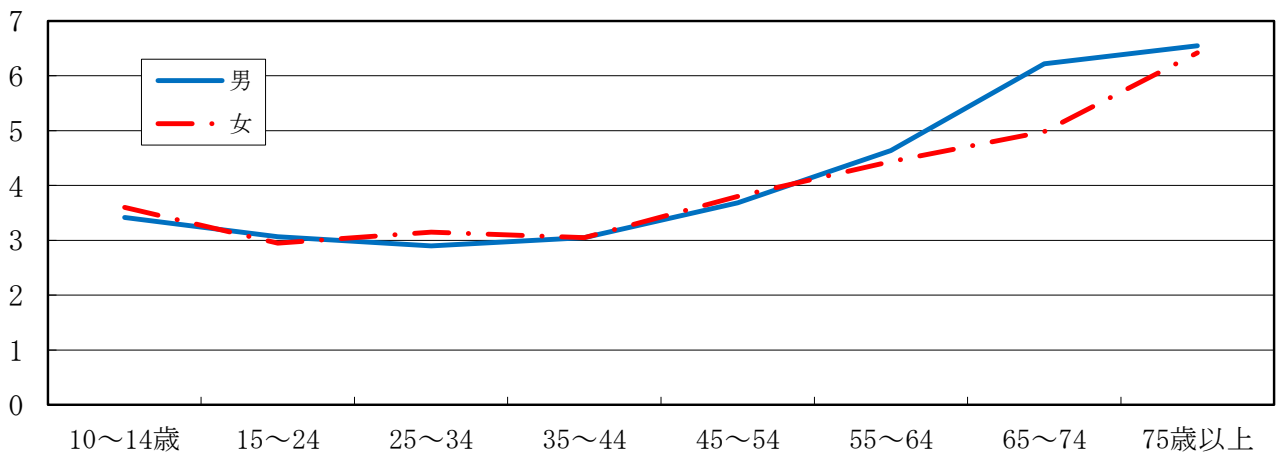


図7 年齢階級別休養等自由時間活動の時間（平成18年、23年）一週全体
(時間)

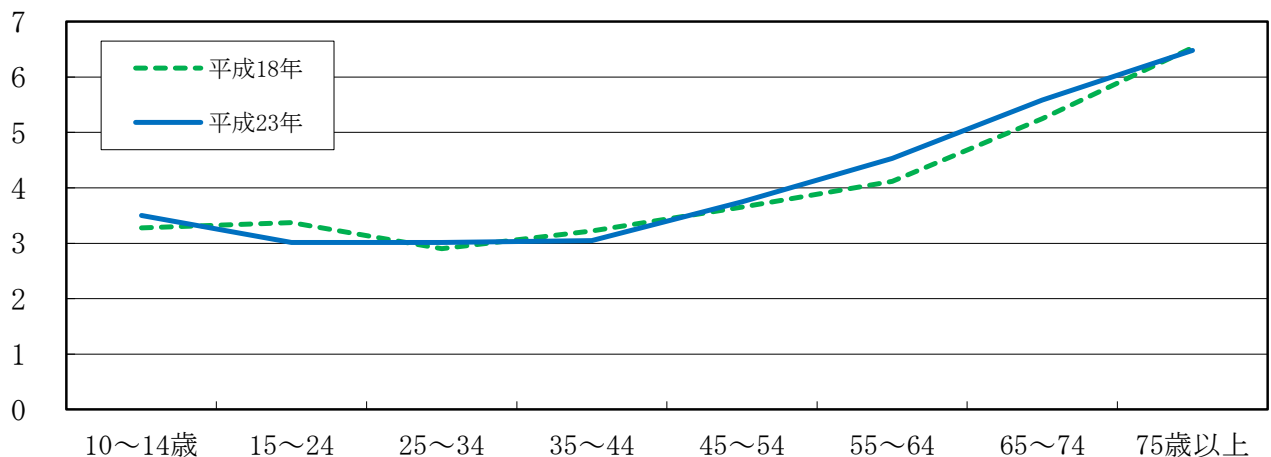


表8 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間（平成18年、23年） 一週全体

(時間、分)

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
休養等自由時間活動	3.52	4.01	0.09	3.51	4.01	0.10	3.53	4.00	0.07	0.01
10～14歳	3.17	3.30	0.13	3.23	3.25	0.02	3.10	3.36	0.26	△ 0.11
15～24歳	3.22	3.01	△ 0.21	3.14	3.04	△ 0.10	3.29	2.57	△ 0.32	0.07
25～34歳	2.54	3.01	0.07	2.52	2.54	0.02	2.57	3.09	0.12	△ 0.15
35～44歳	3.13	3.03	△ 0.10	3.16	3.03	△ 0.13	3.09	3.03	△ 0.06	0.00
45～54歳	3.39	3.45	0.06	3.34	3.41	0.07	3.43	3.48	0.05	△ 0.07
55～64歳	4.07	4.32	0.25	4.06	4.38	0.32	4.07	4.26	0.19	0.12
65～74歳	5.15	5.35	0.20	5.44	6.13	0.29	4.46	4.59	0.13	1.14
75歳以上	6.32	6.29	△ 0.03	6.42	6.33	△ 0.09	6.25	6.25	0.00	0.08
うちテレビ・ラジオ ・新聞・雑誌	2.31	2.32	0.01	2.32	2.32	0.00	2.30	2.31	0.01	0.01
うち休養・くつろぎ	1.21	1.29	0.08	1.19	1.29	0.10	1.23	1.29	0.06	0.00

注)男女差は、男性の値から女性の値を引いたもの。

イ 積極的自由時間活動

○積極的自由時間活動の時間は女性に比べ男性が19分長い

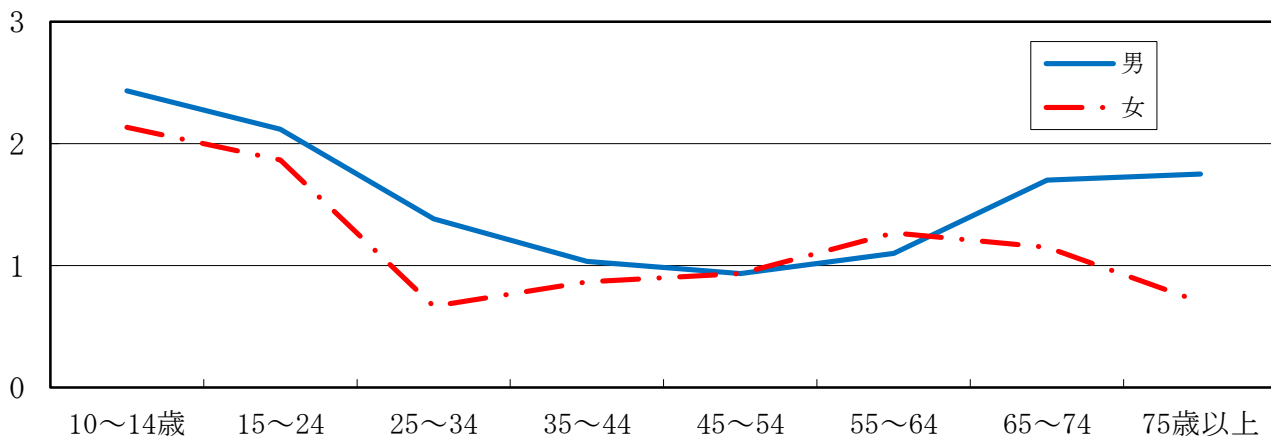
10歳以上の人の積極的自由時間活動の平均時間（週全体）は1時間17分で、全国平均（1時間14分）と比べ、3分長くなっています。このうち「趣味・娯楽」に費やす時間は47分と最も長く、次いで「スポーツ」、「学習・自己啓発・訓練」の順となっています。

男女別にみると、男性は1時間25分、女性は1時間6分と男性が19分長くなっています。これを年齢階級別にみると、男性の「45～54歳」、女性の25歳から54歳及び75歳以上の年齢階級で1時間未満と短くなっています。

平成18年と比べると、横ばいとなっており、「趣味・娯楽」などその内訳についてもすべてほぼ横ばいとなっています。これを年齢階級別にみると、おおむねすべての年齢階級でほぼ横ばいとなっていますが、「10～14歳」は16分の減少となっています。

[図8、9、表9、第2-1表、第4表 参照]

図8 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間（平成23年）一週全体
(時間)



(時間) 図9 年齢階級別積極的自由時間活動の時間(平成18年、23年)一週全体

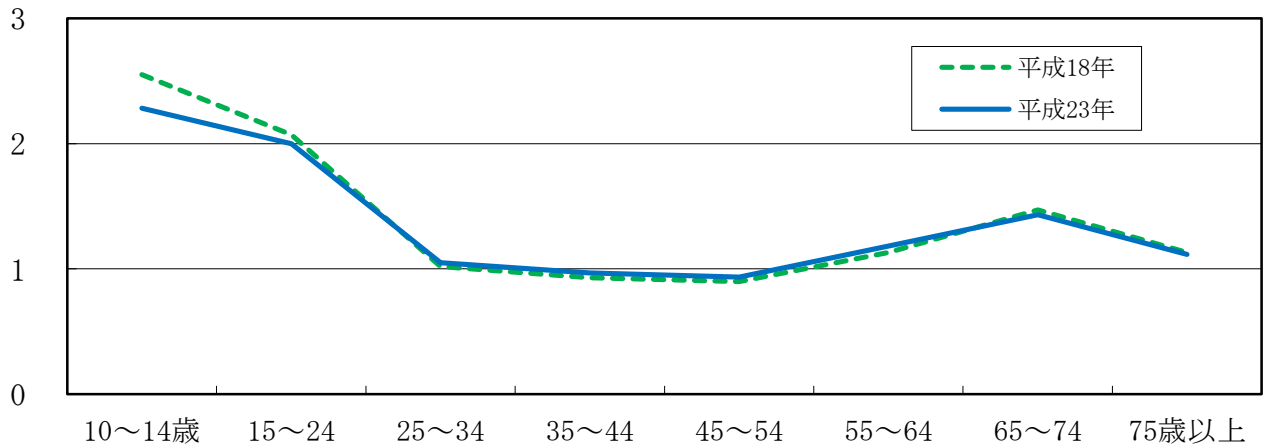


表9 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間(平成18年、23年)一週全体

(時間、分)

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
積極的自由時間活動	1.17	1.17	0.00	1.27	1.25	△ 0.02	1.07	1.06	△ 0.01	0.19
10~14歳	2.33	2.17	△ 0.16	2.50	2.26	△ 0.24	2.14	2.08	△ 0.06	0.18
15~24歳	2.04	2.00	△ 0.04	2.26	2.07	△ 0.19	1.39	1.52	0.13	0.15
25~34歳	1.01	1.03	0.02	1.08	1.23	0.15	0.53	0.40	△ 0.13	0.43
35~44歳	0.56	0.58	0.02	1.01	1.02	0.01	0.49	0.52	0.03	0.10
45~54歳	0.54	0.56	0.02	0.49	0.56	0.07	1.01	0.56	△ 0.05	0.00
55~64歳	1.08	1.11	0.03	1.13	1.06	△ 0.07	1.01	1.16	0.15	△ 0.10
65~74歳	1.28	1.26	△ 0.02	1.49	1.42	△ 0.07	1.09	1.09	0.00	0.33
75歳以上	1.08	1.07	△ 0.01	1.33	1.45	0.12	0.51	0.42	△ 0.09	1.03
うち学習・自己啓発・訓練	0.13	0.12	△ 0.01	0.15	0.11	△ 0.04	0.12	0.13	0.01	△ 0.02
うち趣味・娯楽	0.46	0.47	0.01	0.52	0.55	0.03	0.40	0.38	△ 0.02	0.17
うちスポーツ	0.13	0.14	0.01	0.16	0.16	0.00	0.10	0.11	0.01	0.05
うちボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.04	△ 0.01	0.04	0.03	△ 0.01	0.05	0.04	△ 0.01	△ 0.01

注)男女差は、男性の値から女性の値を引いたもの。

ウ 交際・付き合い

○交際・付き合いの時間は、15歳から34歳の年齢階級が他の年齢階級を10分程度上回る

10歳以上の人の交際・付き合いの平均時間（週全体）は19分で、男女別にみると、男性は18分、女性は19分と男女間に大きな差はありません。

これを年齢階級別にみると、15歳から34歳の年齢階級では、他の年齢階級を10分程度上回っています。これを男女別にみると、10歳から34歳の年齢階級では男性が長く、35歳以上の年齢階級では、女性が長くなっています。

平成18年と比べると、3分の減少となっており、「25～34歳」及び「75歳以上」を除くすべての年齢階級で減少又は横ばいとなっています。

[図10、表10参照]

図10 男女、年齢階級別交際・付き合いの時間（平成18年、23年）一週全体
(分)

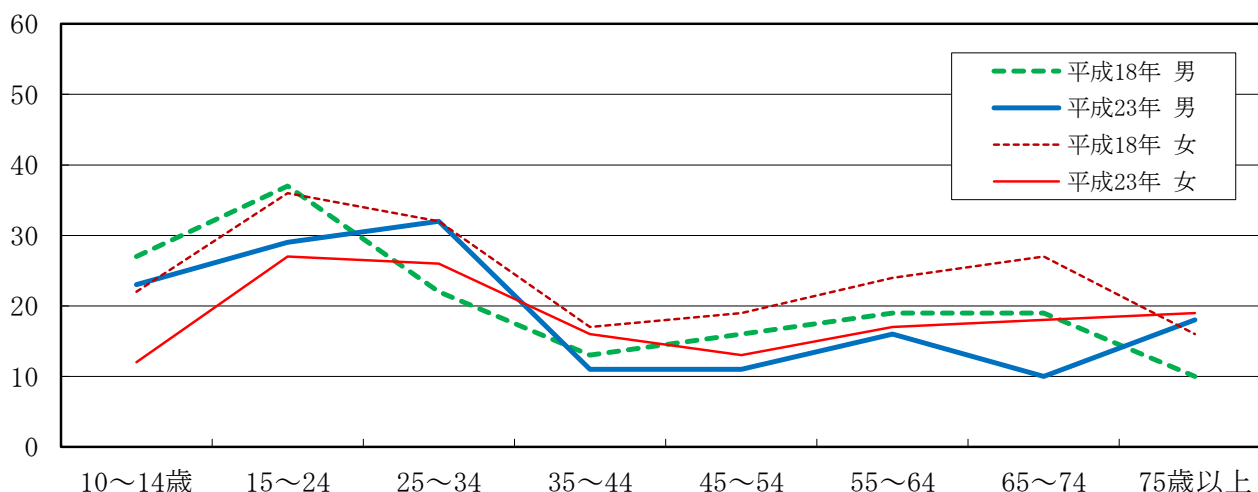


表10 男女、年齢階級別交際・付き合いの時間（平成18年、23年）一週全体

(分)

	総数			男			女			男女差
	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成18年	平成23年	増減	平成23年
総数	22	19	△ 3	20	18	△ 2	25	19	△ 6	△ 1
10～14歳	25	18	△ 7	27	23	△ 4	22	12	△ 10	11
15～24歳	37	28	△ 9	37	29	△ 8	36	27	△ 9	2
25～34歳	27	29	2	22	32	10	32	26	△ 6	6
35～44歳	15	14	△ 1	13	11	△ 2	17	16	△ 1	△ 5
45～54歳	17	12	△ 5	16	11	△ 5	19	13	△ 6	△ 2
55～64歳	21	17	△ 4	19	16	△ 3	24	17	△ 7	△ 1
65～74歳	23	14	△ 9	19	10	△ 9	27	18	△ 9	△ 8
75歳以上	13	19	6	10	18	8	16	19	3	△ 1

注) 男女差は、男性の値から女性の値を引いたもの。

2 生活行動

(1) 学習・自己啓発・訓練

○「学習・自己啓発・訓練」を行った人は220万4千人、行動者率は33.4%で5年前と比べ0.2ポイント低下

過去1年間に何らかの「学習・自己啓発・訓練」を行った人は220万4千人で、行動者率は33.4%となっており、平成18年と比べ0.2ポイント低下しています。男女別にみると、男性が104万7千人、女性が115万7千人となっており、行動者率は男性が31.7%、女性が35.1%で、女性が男性より3.4ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると、「10～14歳」が52.3%と最も高くなっています。また、65歳以上の行動者率は平成18年と比べ上昇しています。これを男女別にみると、「55～64歳」、「75歳以上」を除く年齢階級で、特に24歳以下の年齢階級で女性が高くなっています。

[図16、17、第5表 参照]

図16 年齢階級別「学習・自己啓発・訓練」の行動者率（平成18年、23年）

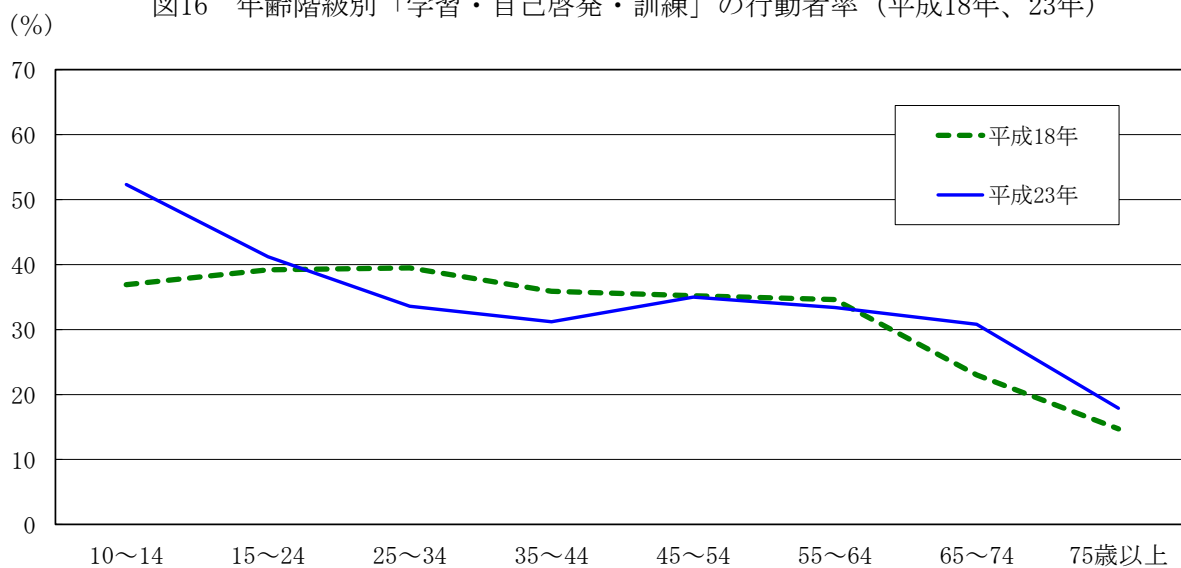
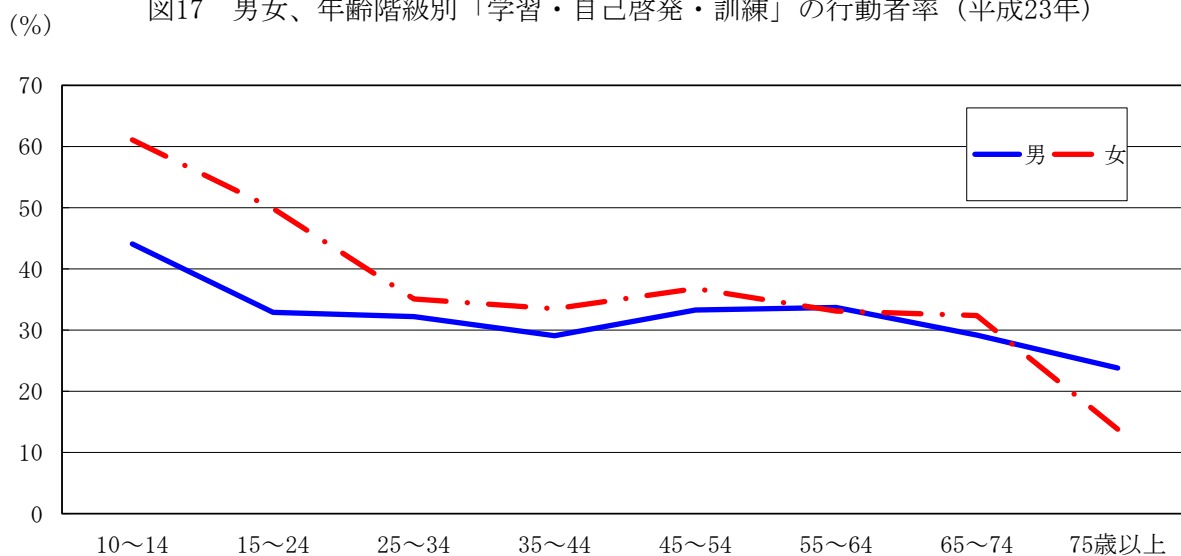


図17 男女、年齢階級別「学習・自己啓発・訓練」の行動者率（平成23年）



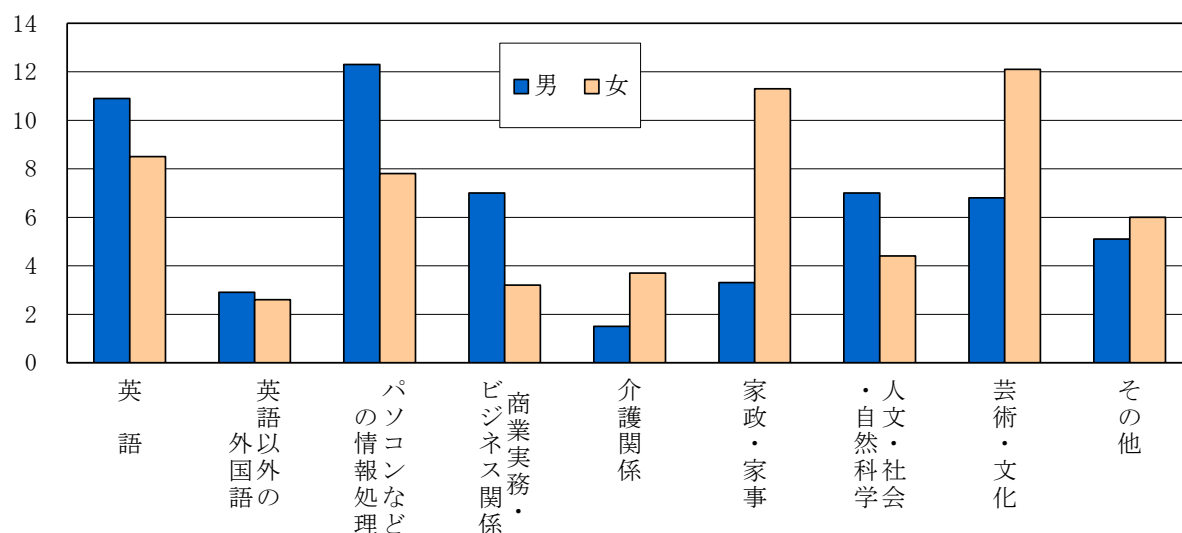
○ 種類別行動者率は「パソコンなどの情報処理」が他の種類と比べ10.1%と最も高い

「学習・自己啓発・訓練」の種類別に行動者率をみると、「パソコンなどの情報処理」が10.1%と最も高く、次いで、「英語」が9.7%、「芸術・文化」が9.5%となっています。これを男女別にみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が12.3%と最も高く、次いで「英語」が10.9%となっています。女性は「芸術・文化」が12.1%と最も高く、次いで「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営など)」が11.3%となっています。

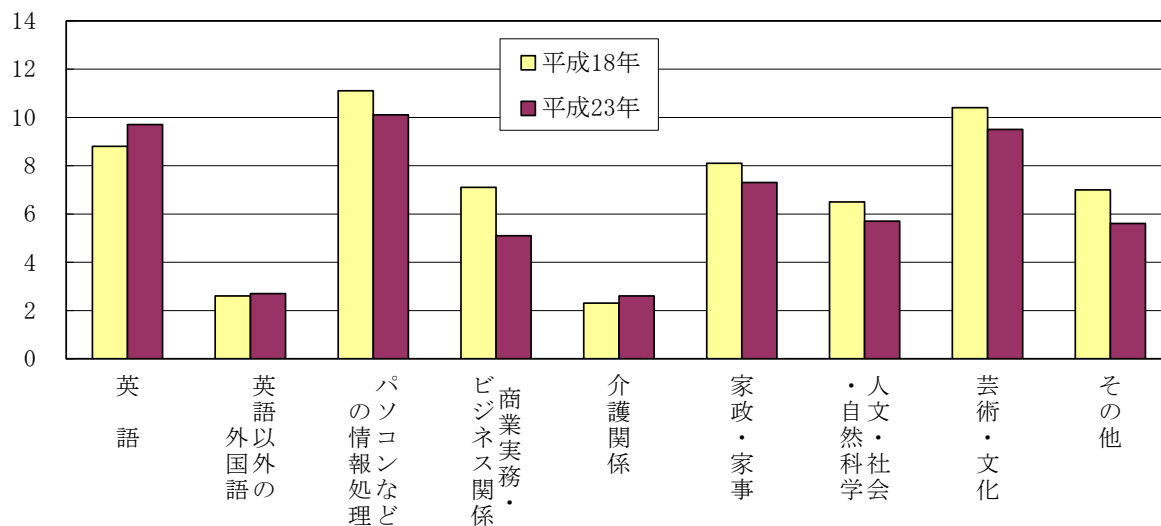
平成18年と比べると、「英語」、「英語以外の外国語」及び「介護関係」は上昇しているのに対して、「商業実務・ビジネス関係」が2.0ポイント、「芸術・文化」が0.9ポイントなどそのほかの種類は低下しています。

[図18、19、第7-1表 参照]

(%) 図18 男女、「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成23年）



(%) 図19 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率（平成18年、23年）



(2) ボランティア活動

○ 「ボランティア活動」を行った人は152万6千人、行動者率23.1%で5年前と比べ0.9ポイント低下

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は152万6千人で、行動者率は23.1%で平成18年と比べ0.9ポイント低下しています。本県の行動者率は、全国平均(26.3%)を下回り、全都道府県のうち44番目となっています。男女別にみると男性が71万1千人、女性が81万6千人となっており、行動者率は男性が21.5%、女性が24.7%で、女性が男性より3.2ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると、「45～54歳」が31.2%と最も高く、「75歳以上」が15.5%と最も低くなっています。これを男女別にみると65歳未満では女性の方が高く、特に「35～44歳」は女性が男性より15.9ポイント高くなっています。一方、65歳以上では男性が高くなっています。

[図28、29、第5表、第8表 参照]

図20 年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率(平成18年、23年)

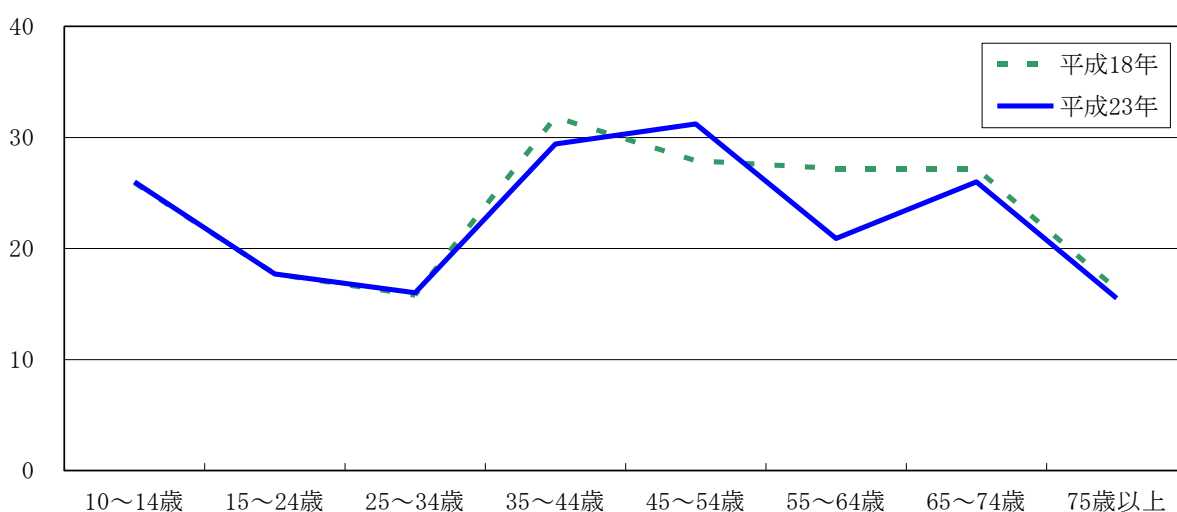
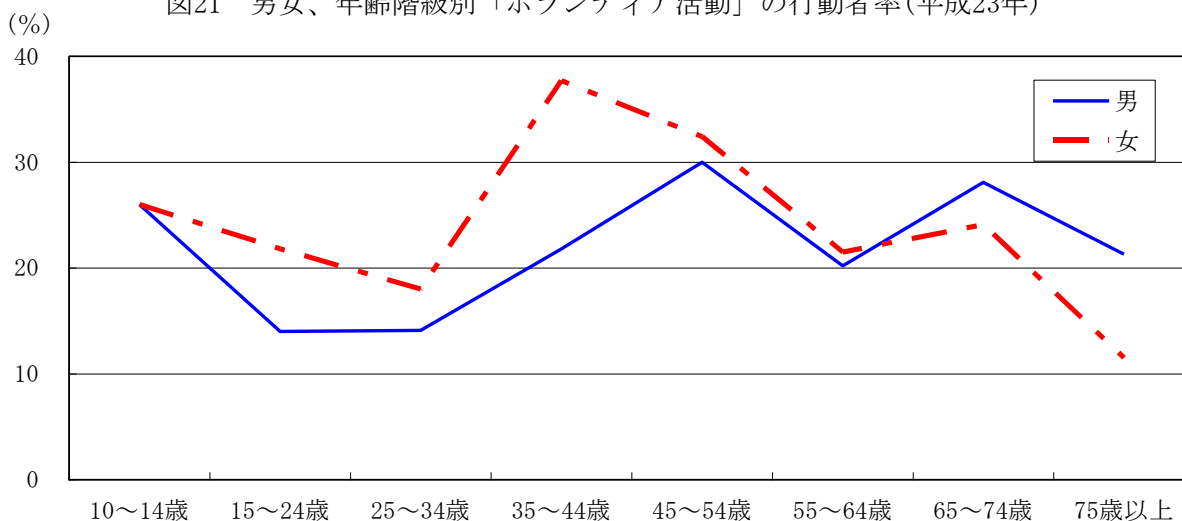


図21 男女、年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率(平成23年)



○種類別行動者率は、「高齢者を対象とした活動」、「障害者を対象とした活動」、「子供を対象とした活動」では、女性が男性を2倍以上上回る

「ボランティア活動」の種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が9.2%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が6.7%、「安全な生活のための活動」が4.9%となっています。

これを男女別にみると、「高齢者を対象とした活動」、「障害者を対象とした活動」、「子供を対象とした活動」では、女性が男性を2倍以上上回っています。

平成18年と比べると、「災害に関係した活動」が1.1ポイント、「子供を対象とした活動」が0.8ポイント上昇しています。

[図30、31、第7-2表 参照]

図22 男女、「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成23年)

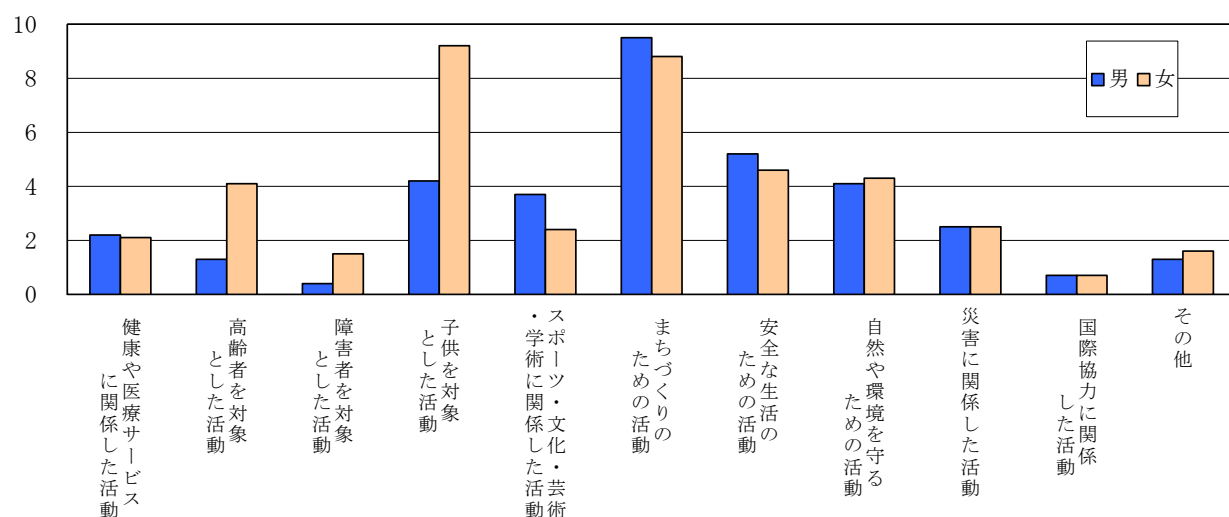
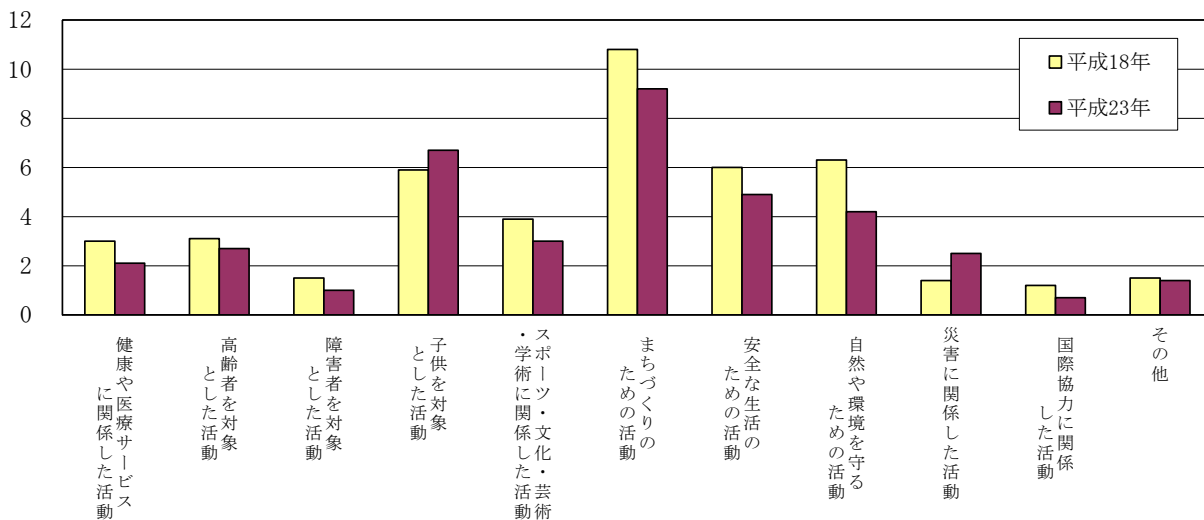


図23 「ボランティア活動」の行動者率(平成18年、23年)

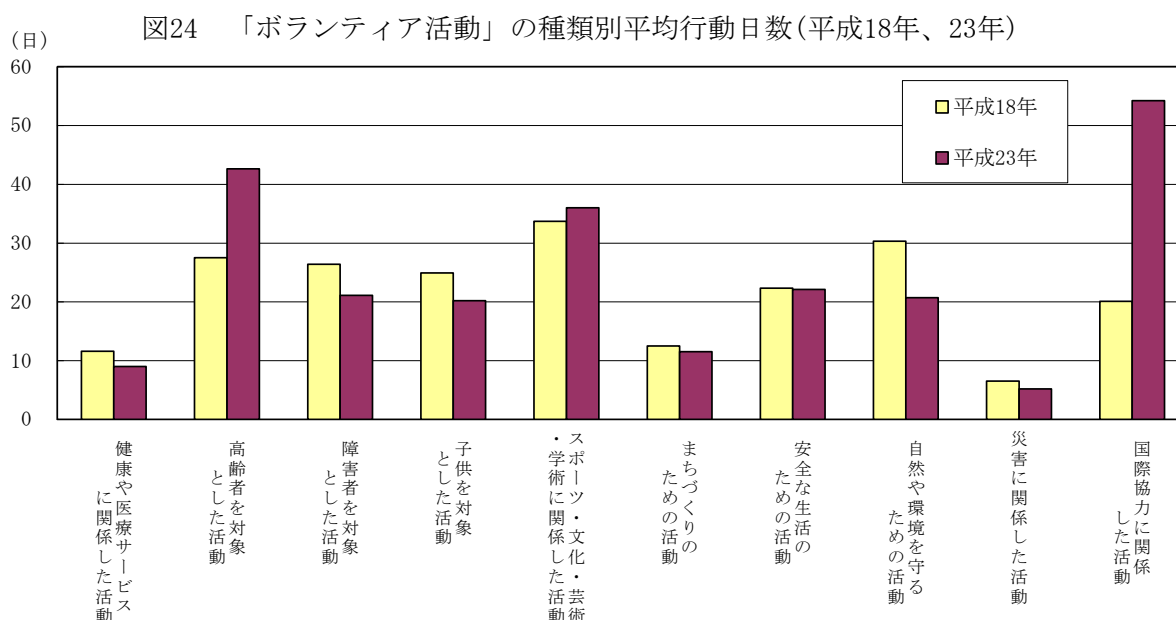


○平均行動日数は平成18年と比べ、「国際協力に関係した活動」が34.1日、「高齢者を対象とした活動」が15.1日それぞれ増加

「ボランティア活動」の種類別に1年間の平均行動日数をみると、「国際協力に関係した活動」が54.2日と最も多く、次いで、「高齢者を対象とした活動」が42.6日、「スポーツ・文化・芸術に関係した活動」が36.0日となっており、最も少ないのは「災害に関係した活動」で5.2日となっています。

平成18年と比べると、「国際協力に関係した活動」が34.1日、「高齢者を対象とした活動」が15.1日それぞれ増加しています。一方、「自然や環境を守るための活動」が9.6日、「障害者を対象にした活動」が5.3日それぞれ減少しています。

[図32 参照]



(3) スポーツ

○ 「スポーツ」を行った人は429万3千人、行動者率は65.1%で5年前と比べ2.1ポイント低下

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は、429万3千人で、行動者率は65.1%となっており、平成18年と比べ2.1ポイント低下しています。男女別にみると男性が233万9千人、女性が195万4千人となっており、行動者率は男性が70.9%、女性が59.3%で、男性が女性より11.6ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると、「10～14歳」が87.8%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下しています。平成18年と比べると、65歳以上の年齢階級では上昇しています。これを男女別にみると、すべての年齢階級で男性が高くなっています。

[図20、21、第5表 参照]

図25 年齢階級別「スポーツ」の行動者率(平成18年、23年)

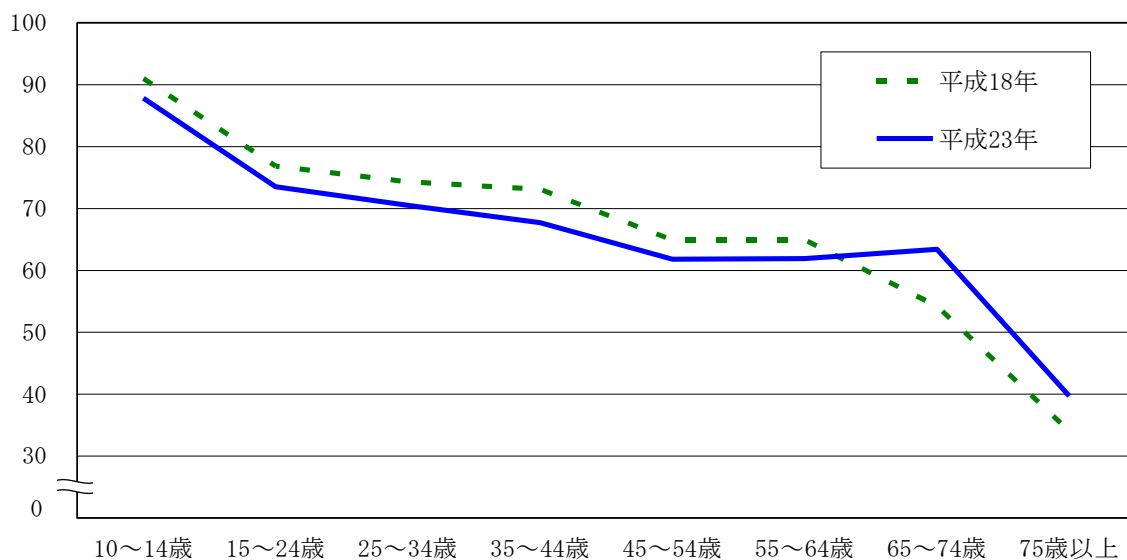
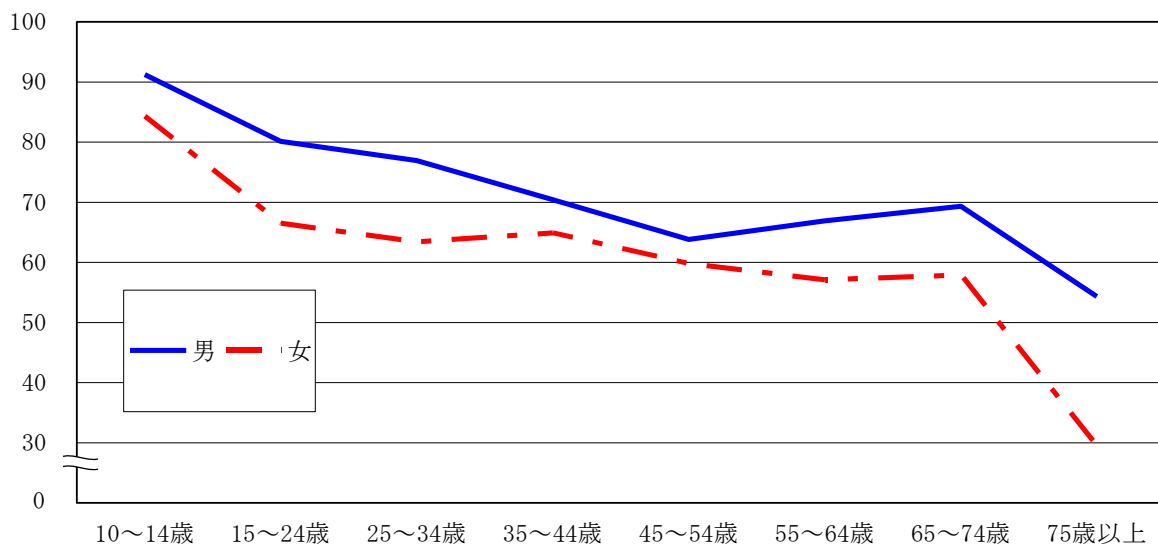


図26 男女、年齢階級別「スポーツ」の行動者率(平成23年)



○種類別行動者率は「ウォーキング・軽い体操」が前回調査時に引き続き、最も高い

「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が35.0%と最も高く、次いで「ボウリング」が15.9%、「水泳」が12.5%となっています。これを男女別にみると、「野球(キャッチボールを含む)」、「サッカー(フットサルを含む)」は男性が女性の5倍以上となっています。

平成18年と比べると、ほとんどの種類で低下している一方で、「ジョギング・マラソン」が1.2ポイント、「剣道」が0.2ポイント、「ウォーキング・軽い体操」が0.2ポイント上昇しています。

[図22、23、第7-3表 参照]

(%) 図27 男女、「スポーツ」の種類別行動者率(平成23年)

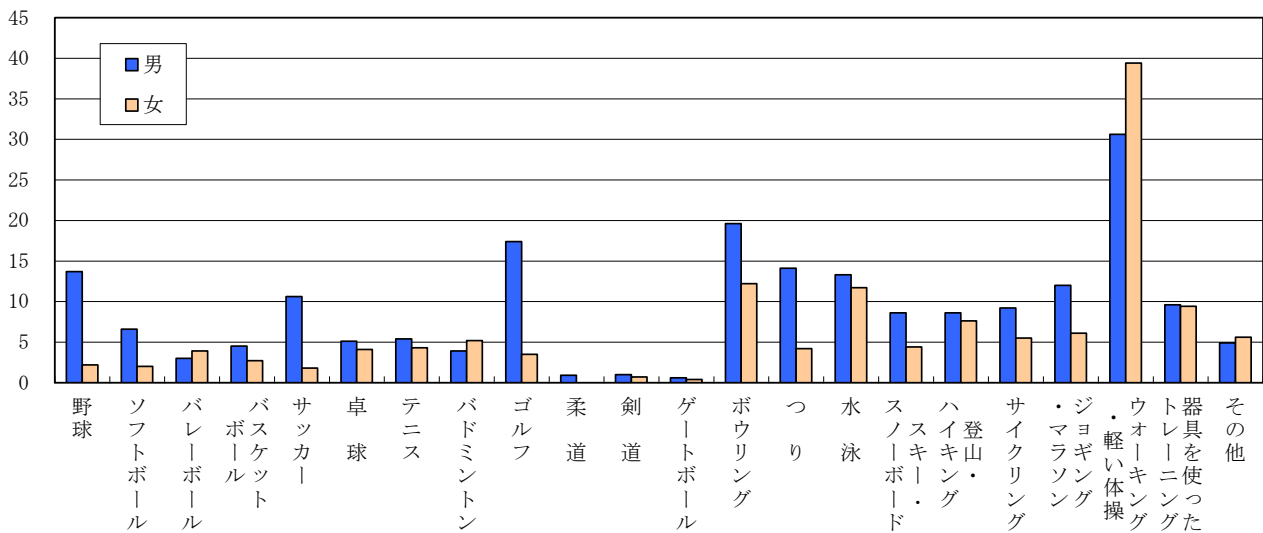
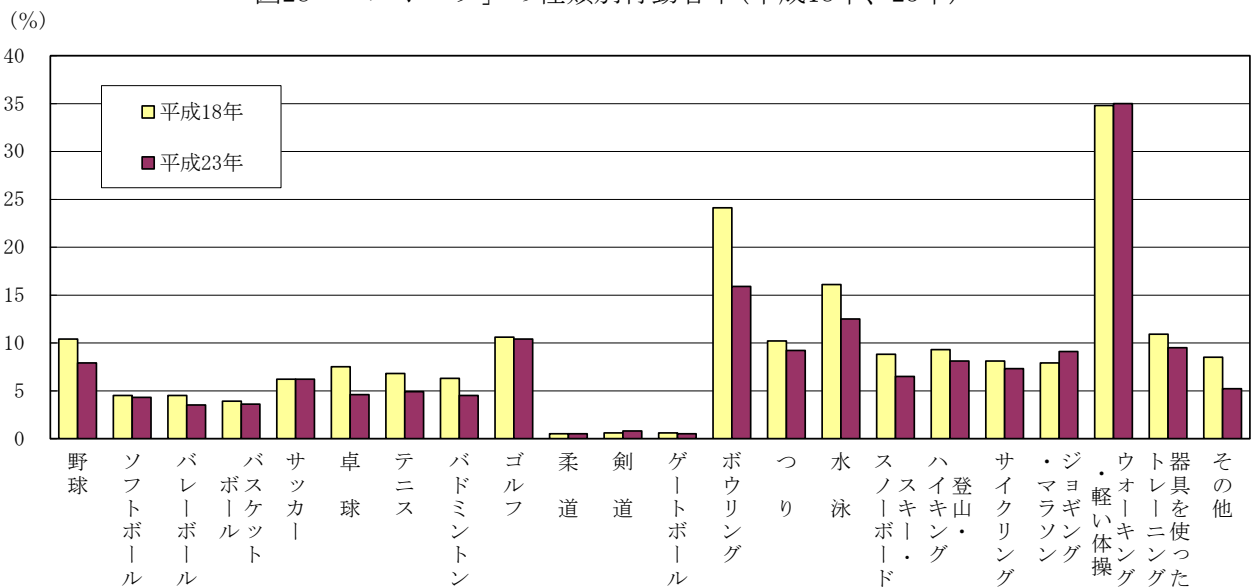


図28 「スポーツ」の種類別行動者率(平成18年、23年)



(4) 趣味・娯楽

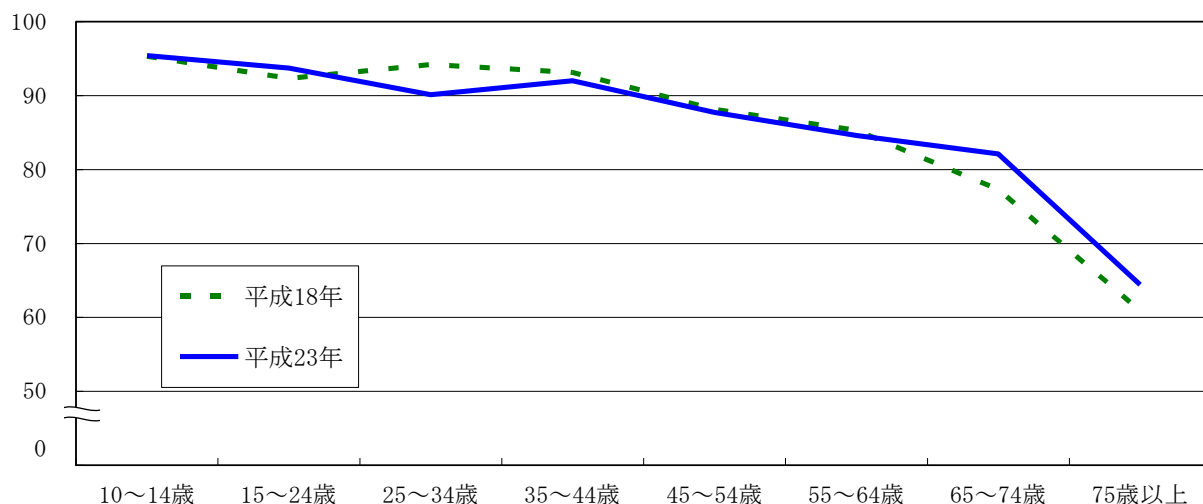
○「趣味・娯楽」を行った人は571万2千人、行動者率は86.6%で5年前と比べ0.5ポイント低下

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は571万2千人で、行動者率は86.6%と平成18年と比べ0.5ポイント低くなっています。男女別にみると男性が288万4千人、女性が282万8千人となっており、行動者率は、男性が87.4%、女性が85.8%で、男性が女性より1.6ポイント高くなっています。

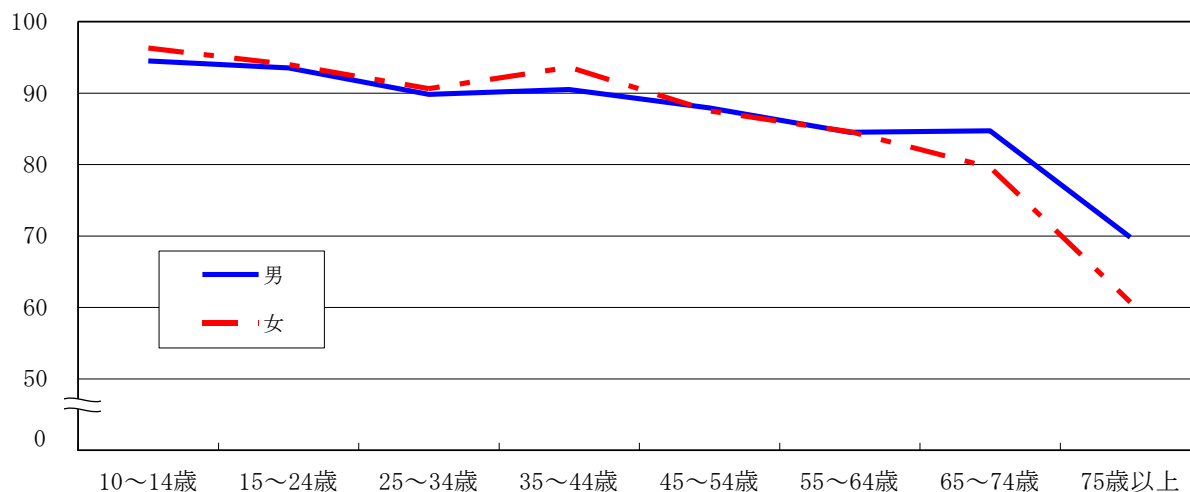
行動者率を年齢階級別にみると、「10～14歳」が95.4%と最も高く、25歳以上は年齢が高くなるにつれておおむね低下しています。これを男女別にみると45歳以上では「55～64歳」を除いて男性が高く、45歳未満では女性が高くなっています。

[図24、25、第5表 参照]

(%) 図29 年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率(平成18年、23年)



(%) 図30 男女、年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率(平成23年)



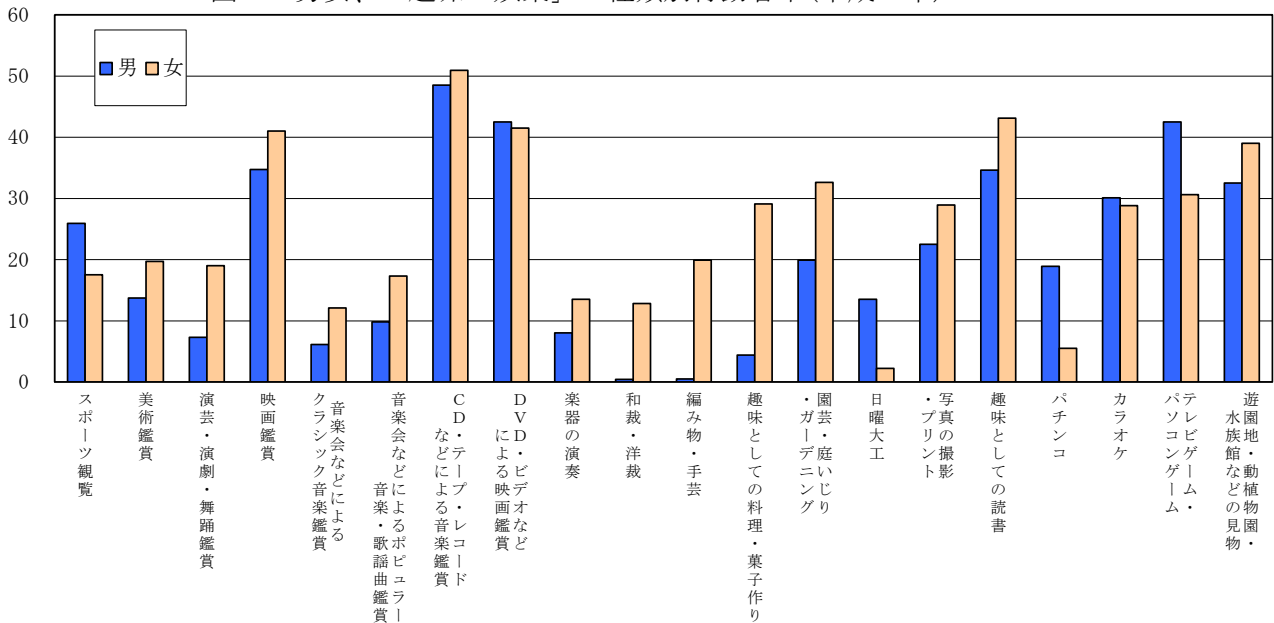
○種類別行動者率は「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が49.7%と最も高い

「趣味・娯楽」の種類別に行動者率をみると、「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が49.7%と最も高く、次いで、「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞(テレビからの録画は除く)」が42.0%、「趣味としての読書」が38.9%となっています。これを男女別にみると、「日曜大工」、「パチンコ」、「テレビゲーム、パソコンゲーム(家庭で行うもの、携帯用を含む)」は男性が女性より10ポイント以上高く、「編み物・手芸」、「趣味としての料理・菓子作り」は女性が男性より15ポイント以上高くなっています。

平成18年と比べると、「音楽会などによるクラシック音楽鑑賞」を除いたすべての種類で行動率が低下しています。

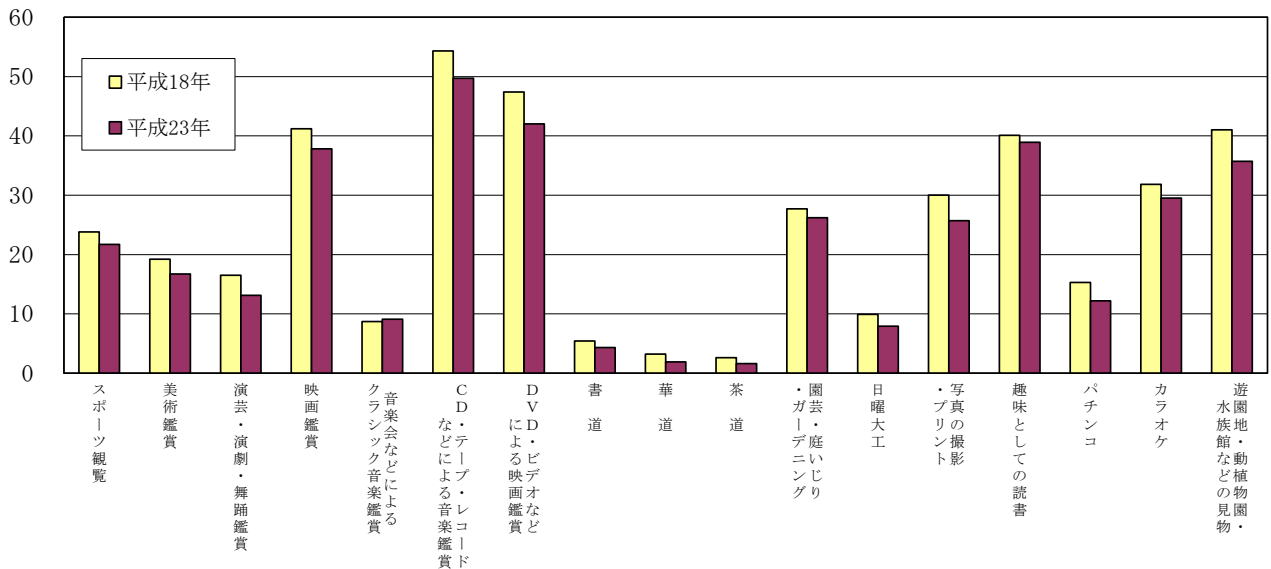
[図26、27、第7-4表 参照]

図31 男女、「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成23年)



※男女いずれかの行動率が10%以上の種類を表章。

図32 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成18年、23年)



※平成18年との差が0.0以上及び△1.0以下の種類のみを表章。

(5) 旅行・行楽

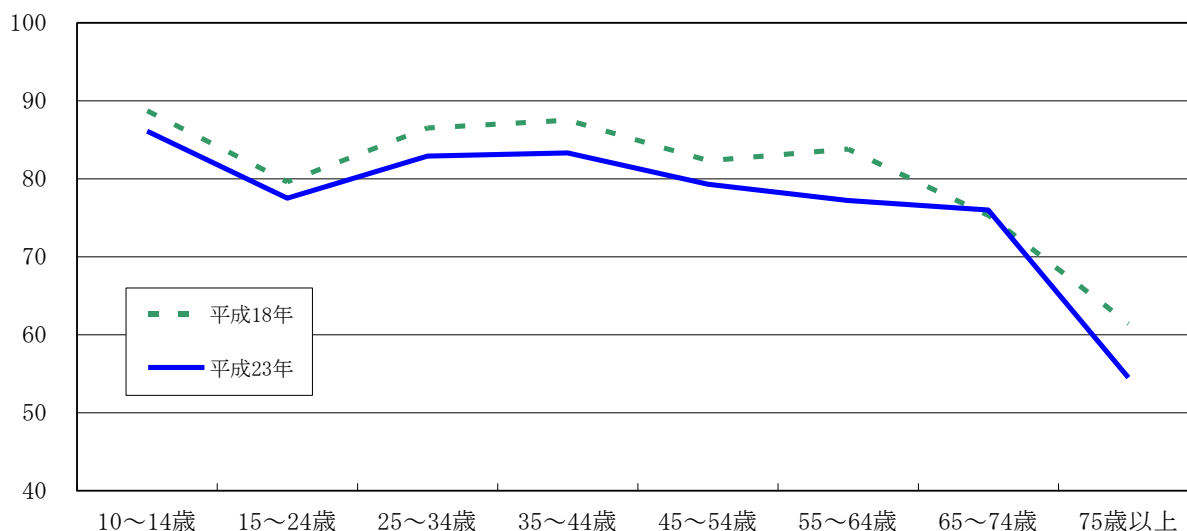
○「旅行・行楽」を行った人は512万人、行動者率は77.6%で5年前と比べ4.1ポイント低下

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は512万人で、行動者率は77.6%となっており、平成18年と比べ4.1ポイント低下しています。本県の行動者率は、全国平均(73.2%)を上回り、全都道府県のうち3番目となっています。男女別にみると、男性が250万7千人、女性が261万3千人となっており、行動者率は男性が76.0%、女性が79.3%で、女性が男性より3.3ポイント高くなっています。

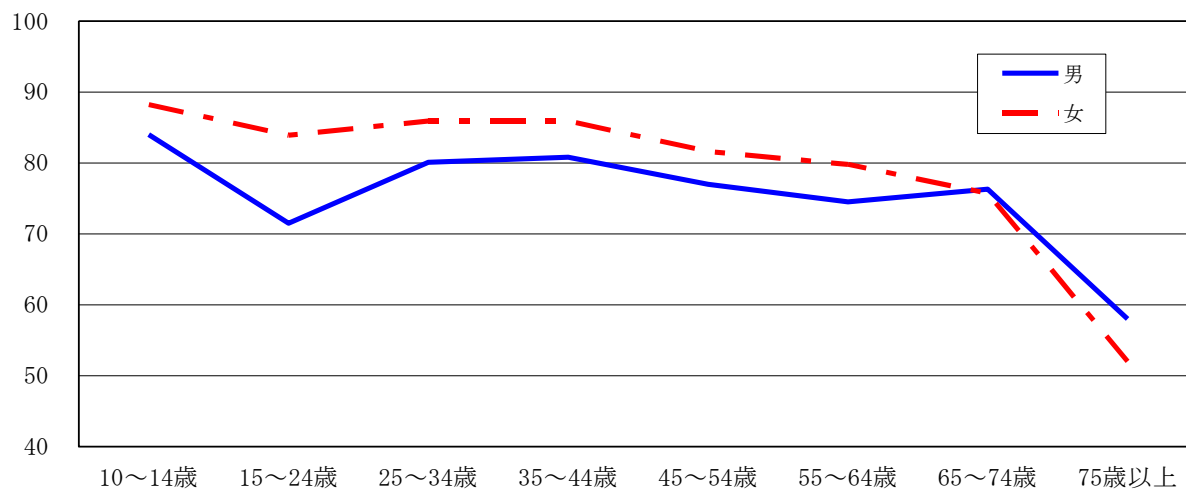
行動者率を年齢階級別にみると、「10～14歳」が86.1%と最も高く、次いで、「35～44歳」が83.3%となっています。これを男女別にみると、65歳未満では女性が高く、65歳以上では男性が高くなっています。

[図33、34、第5表、第8表 参照]

(%) 図33 年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率(平成18年、23年)



(%) 図34 男女、「旅行・行楽」の種類別行動者率(平成23年)



○種類別行動者率は「業務出張・研修・その他」を除くすべての種類で女性が高い

「旅行・行楽」の種類別に行動者率をみると、「行楽（日帰り）」が64.5%、観光旅行では国内が50.6%、海外が9.8%となっています。これを男女別にみると、国内及び海外の「業務出張・研修・その他」を除くすべての種類で女性が高くなっています。

平成18年と比べると、「観光旅行（国内）」が4.7ポイント低下、「業務出張・研修・その他（国内）」が3.0ポイント低下などと「業務出張・研修・その他（海外）」を除くすべての種類で低下しています。

[図35、36、第7-5表 参照]

図35 男女、「旅行・行楽」の種類別行動者率(平成23年)

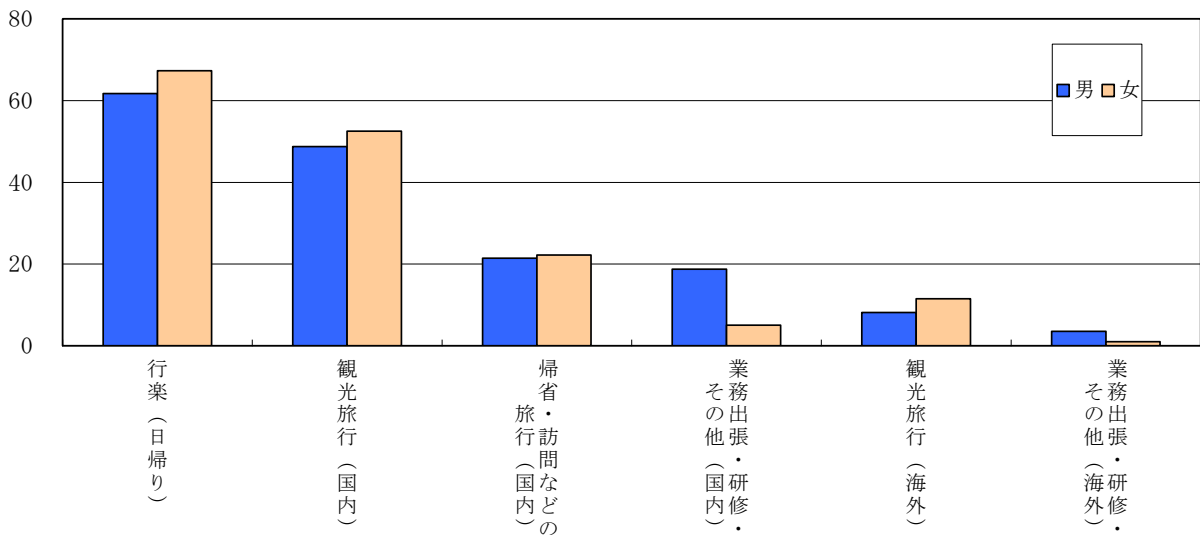
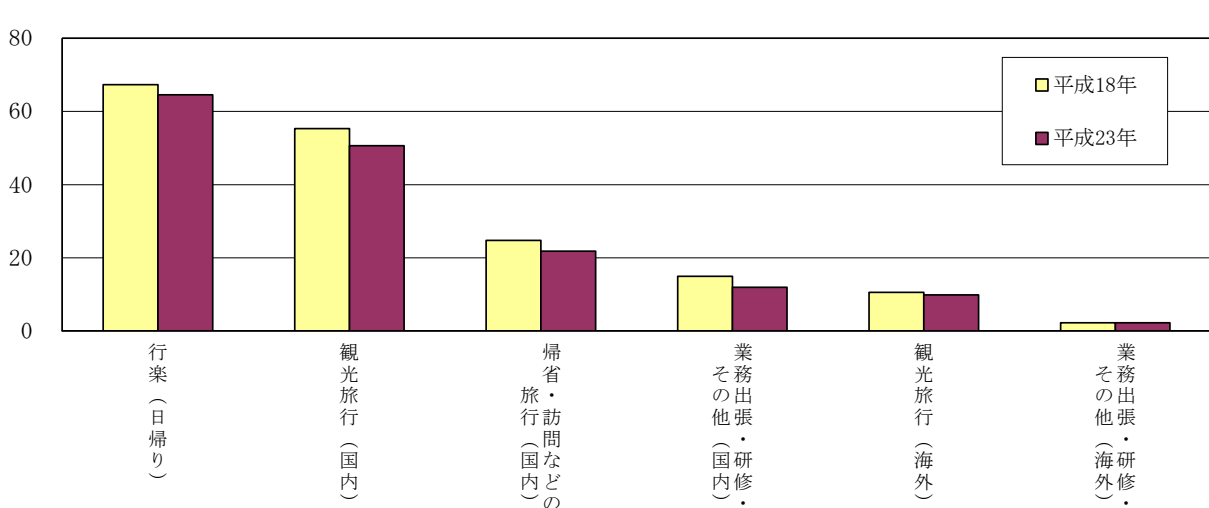


図36 「旅行・行楽」の種類別行動者率(平成18年、23年)

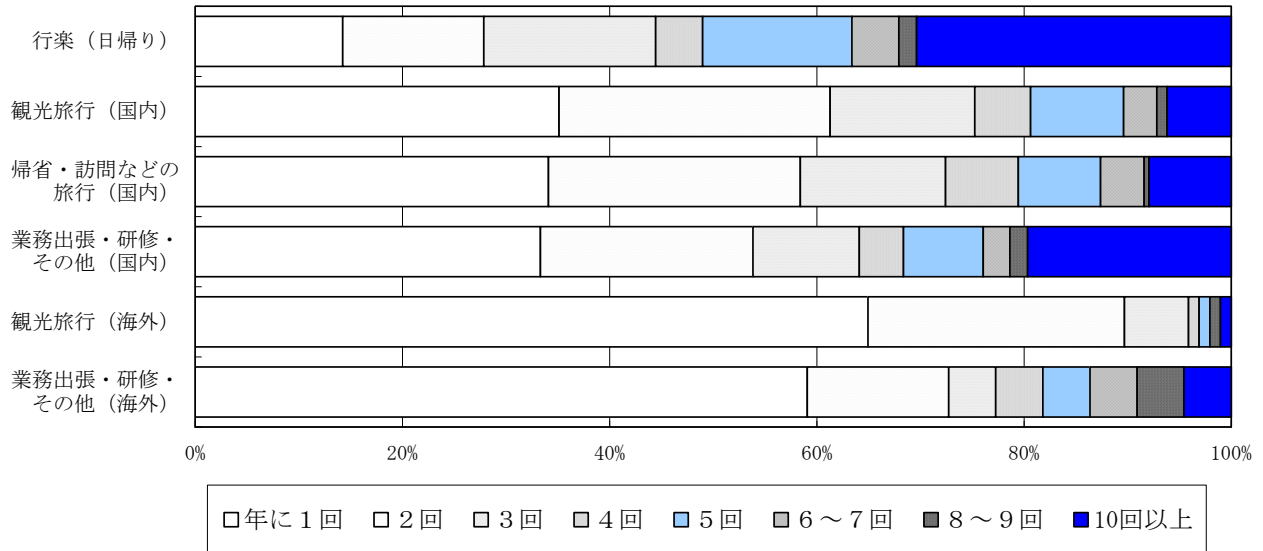


○「行楽（日帰り）」は「年に10回以上」が最も多い

「旅行・行楽」の種類別に頻度別行動者率をみると、「行楽（日帰り）」は年に「10回以上」が最も多く、そのほかは「年に1回」が最も多くなっています。

[図37 参照]

図37 「旅行・行楽」の種類、頻度別行動者率(平成23年)



※頻度不詳は未表章。